

中国5県新型コロナ対応緊急支援助成

公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	NPO 法人山口せわやきネットワーク
代表者名	児玉頼幸
申請事業名 主題	新型コロナ対策困窮世帯等緊急支援事業
申請事業名 副題	食料品や生活物資等の緊急支援と学習支援
エリア／テーマ	【山口県】 子ども・若者・家庭支援
解決すべき社会課題	【領域】 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 【分野】 ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 【その他】 ひとり親家庭の半分が相対的貧困にあり、非正規やパートが多く、今回のコロナでより深刻な影響を受けている
申請事業の概要	新型コロナの影響により、元々、経済基盤の弱いひとり親家庭など、子育て家庭が急に仕事や収入が減り、あるいはなくなり、必要な食料品や生活物資が手に入らないなど、経済的に厳しくなった場合に、自分で解決することができず、また地域で助けを求めることができずに孤立してしまい、さらに状況を悪化させることがないように、「困った」と連絡しやすい体制（連絡窓口設置）を整え、すぐに必要とする食料品や生活物資などを提供して、当面の危機を回避するとともに、根本的な課題解決ができるよう、関係機関と連携した支援を行う。さらに、経済的理由で子どもたちの教育環境や進路に影響しないよう、学習支援や相談などサポートを行う。
事業実施地域	山口市周辺
申請事業期間	2020年12月～2021年11月
申請助成額	3,900,000円 【内訳】直接事業費 3,360,000円、管理的経費 540,000円

■ 審査コメント

- ✓ 本当に必要な家庭に緊急支援弁当が届くのか。
- ✓ アウトリーチ対象へどのようにアクセスしていくのか、具体性が詰められることを期待。

- ✓ ひとり親家庭というと母親との家庭がイメージされやすいが、最近では父親との家庭も多くなってきた。「男のメンツ」などが理由で精神的にも参ってしまうケースもある。シングルファーザー家庭への配慮もお願いしたい。
- ✓ 事業の効果を担保する点で、各委員とも「能動的に外部へ助けを求められない家庭」に対してどのようにアプローチできるのかということに注目されていた。アウトリーチのためのチャンネル開拓や上記家庭とのつながりづくりにご留意いただきたい。